

特定非営利活動法人宇都宮市国際交流協会 中期経営計画評価表（平成29年度実績）

平成30年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市馬場通り4丁目1番1号 うつのみや表参道スクエア5階			設立年月	平成9年4月
市所管課	市民まちづくり部 国際交流プラザ			代表者	理事長 臼井 佳子
ホームページアドレス	http://www.ucia.or.jp				
基本財産（資本金）	—		主な出資者	出資額	出資割合
	—		—	—	—
	—		—	—	—
市出資額	—		—	—	—
市出資割合	—		—	—	—
設立目的等	市民主体の国際交流活動の推進				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流・多文化共生に関する研修・講習会及び啓発事業 国際交流・多文化共生に貢献できる人材の育成 外国人住民、留学生との交流及び相談・支援事業 				
公益目的事業比率 （公益法人のみ）	—				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	うち市OB		正規職員等			嘱託・臨時職員等		
			1	1	正規職員	0	0	嘱託職員	6	0
		監事	0	0	再雇用職員 (フルタイム)	0	0	再雇用職員 (短時間)	0	0
非常勤	理事	25	2	派遣等職員	0	0	臨時職員等 (アルバイト等含む)	10	0	
	監事	2	1	市OB職員	1	1				
	計	28	4	計	1	1	計	16	0	
役員の平均年齢（歳）	68.3	役員の平均年収（千円）	—		情報公開制度の有無			0		
職員の平均年齢（歳）	53.7	職員の平均年収（千円）	—		個人情報保護体制の有無			0		

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	備考
資産	15,966	14,291	14,584	
負債	696	772	985	
（うち損失補償等額）	0	0	0	
純資産	15,270	13,519	13,599	
（うち利益剰余金）	△ 196	△ 1,751	80	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	備考
総収入	50,639	50,765	53,317	
（うち市補助金等）	12,045	12,133	12,925	
（うち市委託料等）	24,424	23,852	23,104	
経常損益	1,893	△ 39	1,508	
当期損益	△ 196	△ 1,751	80	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

【宇都宮市国際交流協会】

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
1	自主事業の改善	安定経営を図るために、これまで拡大してきた事業の見直し検討を行う。	62事業	69事業	63事業	62事業	

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
2	国際理解のための講師派遣	市民に対する国際理解講座を通して、各地域での多文化共生への理解を深める。	29講座	32講座	32講座	36講座	

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
3 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	継続的な見直し	8,454千円※	12,045千円	12,133千円	12,925千円	
4 (共)	市からの委託料の適正化	継続的な見直し	24,463千円	24,424千円	23,852千円	23,104千円	
5	会員拡大方策に対する取組	31年度会員数510名	486名	537名	570名	528名	

※No.3 基準値（H26）は1名欠員による人件費減の数値である。

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
6 (共)	常勤役職員数の適正化 （派遣を除く）	職員の適正配置	7人	7人	7人	7人	

Ⅲ 総合評価

団体による 自己評価	<p>【評価】</p> <p>自主事業においては、引き続き内容を精査し事業を実施した。外国語講座においては、外国人住民の増加に伴い、旅行向けの英会話講座から国内・地域において活用できる英会話講座に内容を変更するなど、ニーズに合った事業の見直しを行い、収益性の向上にも努めた。また協会設立20周年記念事業においては、会員や登録団体の連携強化を再確認するとともに、協会の柱事業の一つである日本語教室の生徒による外国人スピーチ発表会などを通して、協会活動を広く市民にPRできた。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・効率的な事業の見直し・安定的な運営に向けた収益事業の継続実施と会員数の拡大・協会会員活動の促進と会員相互の連携強化
所管課による 評価	<p>【評価】</p> <p>自主事業の改善にあたっては、随時市民ニーズの把握に努め、内容の見直しや統廃合、新規事業の実施など、取組を進めている。</p> <p>また、地域における公益的活動の推進にあたっては、保有する人的ネットワークを活用し、国際理解のための講座への講師派遣数も着実に増加しており、各地域の多文化共生への理解の場の創出が図られている。</p> <p>健全経営の維持に向け、自主財源の確保については、自主事業の継続的な改善とあわせ、特にニーズの高い語学講座に会員割引を設定し、新たな会員の加入促進に努めており、結果、会員数は各年度において目標値を上回る水準で推移している。</p> <p>当協会は平成29年度に設立20周年を迎えており、長きに渡り、本市国際化において先駆的な事業を展開し、中核を担う団体として活動する中、平成20年度にはNPO法人格を取得し、組織体制の整備にも取り組んできたところである。</p> <p>今後も引き続き、会員拡大と併せて、安定的な運営に向けた収益事業などの実施による自主財源の確保に努め、経営基盤の強化に取り組むとともに、市民主体の国際交流・多文化共生を促進する幅広い事業を行うことで、民間国際交流団体の牽引役を担うことを期待する。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・予算執行の効率化や効果的な事業の検討・実施・収益性のある事業や会員増に向けた取組の継続実施・会員に対する事業参加や連携、活動支援の強化